

1.3.1.1-21

「考える」尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い

<1> 「考える」尊敬語、謙讓語、丁寧語の表現(P2)

<2> 「考える」の尊敬語表現 (P3)

<3> 「考える」の敬語表現でよくある失敗例 (P4)

<4> 「考える」の謙讓語表現(P5)

<5> 「考える」の丁寧語表現と参考出典情報 (P6)

資料作成: 日本語ナレッジ推進委員会第2組より作成します。

・作成メンバー: 崔湘寧、唐名澤、李重陽、宋雪明、楊顏華

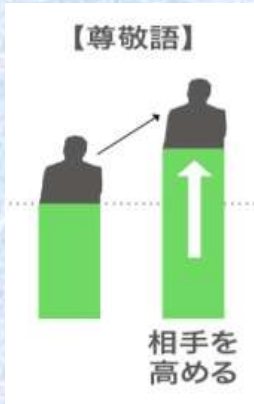
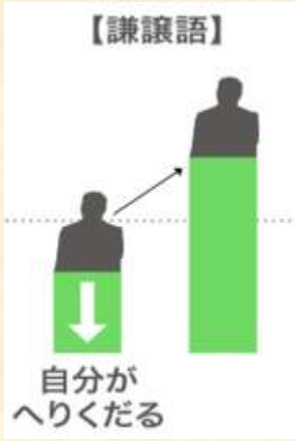
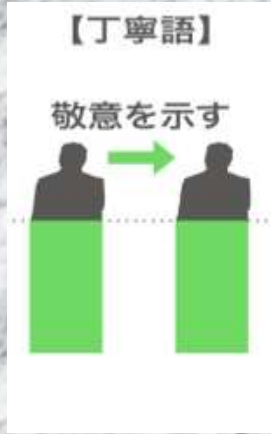
・一次レビュー者: 崔湘寧

最終レビュー・補記訂正者: 吉川さん

1.3.1.1-21「考える」尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い



「考える」の尊敬語、謙讓語、丁寧語の表現

基本形	尊敬語	謙讓語	丁寧語
考える	お考えになる ご高察くださる	考えておる 拝察する	考えます
敬意を表す方向			
使用方法	相手の動作や状態に使う。 相手や相手の動作、状態などを直接的に高める。	自分の動作・状態に使うもの。 自分がへりくだり、それにより間接的に相手を高める言い方です。	聞き手に対して丁寧に述べる言葉。 「です」「ます」をつけて使う。 相手・内容を問わない。



1.3.1.1-21「考える」尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い

「考える」の尊敬語表現：「お考えになる」「ご高察くださる」

「考える」を相手の方に使う場合の尊敬語に変換すると、「お考えになる」「ご高察くださる」になります。

◇「お考えになる」

尊敬語の主語は相手に、相手の立場を高める働きをします。

「考える」という行為をする人物が、自分より上の立場であるならば「お考えになる」を使ってください。

◇「ご高察くださる」

ご高察の意味は相手の事情や心中を察することを敬って使う言葉で、目上のひとや上司・社外取引先に使えるとても丁寧なビジネスフレーズです。ただし、ビジネス会話・電話対応では丁寧すぎて違和感があるので、あまり使いません。

考える行為を「お考えになる」、考えて察する行為を「ご高察になる」と使い分けます。

「考えてください」というのは命令形なので、目上の方に「考えてください」と使うのは失礼にあたりますので、「考えてください」の尊敬語はありません。

「考えてください」のかわりに「ご検討くださいませ」といった言葉を使いましょう。

参考：<https://career-picks.com/business-yougo/kangaeru-ruigo/>

「考える」尊敬語の使用例

- ・部長が新規戦略をお考えになります。
- ・来月行うスピーチの内容はお考えになりましたか？
- ・ご高察くださいますようお願い申し上げます。
- ・なにとぞ当方の事情をご高察賜りまして、あしからずご了承のほどお願い申し上げます。

とても固い文章。

形式的に聞こえるかもしれませんが、辞退する内容や不採用通知の常套句としても使われる。

社内向けの文章であればOK。
社外宛の文章であれば、「考えます」or「検討します」
※次ページ解説の通り



1.3.1.1-21「考える」尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い

「考える」の敬語表現でよくある失敗例

◇「お考えになられる」は二重敬語となる誤用例

「この問題について、どうお考えになられますか？」（×）

⇒ここでは、尊敬語の「～られる」が加わり二重敬語のようになっていますので正しい敬語とは言えません。

「この問題について、どのようにお考えになりますか？」（○）

「この問題について、どのようにお考え ですか？」（○）

⇒尊敬語よりも丁寧語のほうがよい場合もあります。

◇そもそも「考える」の敬語を使うべきシーンが間違っている

「その件につきましては、弊社の社長が明日中にお考えになります」（×）

「その件につきましては、弊社の社長が明日中に考えます」（○）

⇒ 1つ目の例文の「考える」は間違った使い方で、外部の取引先や顧客などに向けて自社の人について話す場合は、常に謙讓語や丁寧語を用い、尊敬語は使いません

これでも偉そうな文章。わたしなら

社長、大変申し上げにくいのですが、もう少しご検討いただいたほうがよろしいかと存じます。

「社長、少しはお考えになってください」（×）

「社長、少しお考えになるのがよろしいかと存じます」（○）

精一杯の誠意を伝えつつ。。。。

⇒こちらは「考える」の尊敬語の使い方としては間違っていないものの、敬意を表すべき相手に対して指示や命令を行うことは原則的にNGです。



1.3.1.1-21「考える」尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い

「考える」謙讓語表現：「考えておる」、「拝察する」

◇「考えておる」、「拝察する」

一般的に「考える」の謙讓語は、「考えておる」が使われています。ただし、相手に対して強く敬意を持っている場合には「拝察する」が使われることがありますし、自分の考えを述べるのが分不相応であるという意識がある場合には「**愚考する**」というような表現もあります。現代ではこうした敬語表現をあまり使う機会がなく、もし使った場合には大げさに受け取られる可能性があることを覚えておきましょう。

「考える」を「思う」の意味で使う場合、「存じます」も使えるでしょう。

「愚考する」は使う機会が少ないが、小説で台詞として使われることもあるので、知っていて損はない。

参考：<https://www.taishoku-a.net/language/honorific-expression-think.html>

「考える」の謙讓語使用例

- 良いアイデアを現在、**考えております**。
- 皆様のお悲しみは如何ばかりかと**拝察**申し上げます。
- お食事をお出ししたいと**存じます**が、よろしゅうございますか。

※「考えております」は「考え中」の意味と同じに受け取られることが多い。



1.3.1.1-21「考える」尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い

「考える」の丁寧語表現：「考えます」

◇「考えます」

丁寧語は聞き手に対して、丁寧に述べる時に使う敬語です。社長やお客様などに対しては、少し失礼にあたる言葉ですが、部下や同僚、親しい上司などには使っても問題はありません。

「考えます」の言い換えはたくさんあり、利用する場面ごとに使い分けることができます。

例：検討します、考慮します、考察します、知恵を絞ります。など（他にもたくさん）

参考リンク：<https://tap-biz.jp/business/honorific/1001572>

「考えます」の使用例

• 今回の案について〇〇と考えます。

参考出典情報

<1> 「考える」の類語を52個紹介！「考える」を使わない表現も解説

<https://career-picks.com/business-yougo/kangaeru-ruigo/>

<2> 「考える」を敬語に正しく変換しよう！ミスのない表現・類語・例文

<https://www.taishoku-a.net/language/honorific-expression-think.html>

<3> ビジネスにおける考えるの敬語表現 | メールで使える考えるの敬語表現例

<https://tap-biz.jp/business/honorific/1001572>

